Catabrosa は *C. aquatica* 1種のみらかなる小属であるが，外穎ははつきりした3脈をもち *Eragrostis* に似たところがある。しかしその葉の解剖学的特徴は Avdulov の Type II の確認があり，腊葉標本による筆者の簡単な観察によると，Prat の Festucoid type に入れて差支えないと思われるもので，Eragrostoideae の状態とは全然違つたものであつた。その染色体構成は b=10 で中型であるが，Eragrostoideae 一般の b=10 (又は 9) で小型という構成とは大きさの点で異なつている。*Catabrosa* はやはり Festucoideae の一員とみるべきものと思われるが，この属と Eu-festuciformes group との系統的な関係は *Glyceria* と同様はつきりしない。

以上を総合すると，この Glyceriinae においては，Eu-festuciformes group の一員と考えて差支えない属と，はつきりしたことの分らない属とがみられる。また Eu-festuciformes group の一員と考えられる6属も，それらが Eu-festuciformes group の中でまとまつた亜群をつくるとみることは問題である。

引　用　文　献

Avdulov 1931, Hubbard 1948, Pilger 1954, Prat 1936, 館岡印刷中 a, b は前報に記したので省略する。　Brown, W. V. 1950 Bull. Torr. Bot. Club **77**: 63-76. Burbidge, N. T. 1946 a Trans. Roy. Soc. S. Austr. **70**: 221-234. ——— 1946b Blumea, Suppl. III: 83-89. ——— 1953 Austr. Jour. Bot. **1**: 121-184. Church, G. L. 1949 Amer. Jour. Bot. **36**: 155-165. ——— 1952 Rhodora **54**: 197-200. Flovik, K. 1938 Hereditas **24**: 265-376. Gardner, C. A. 1952 'The Flora of Western Australia' Vol. 1. Part 1. Hackel, E. 1887 Nat. Pflanzenfamilien II 2. Hylander, N. 1950 Proc. 7th Int. Bot. Cong.: 854-855. 館岡亜緒 1955 植研 **30**: 63-64. Tateoka, T. (Karyotaxonomy in Poaceae IV) Bot. Mag. Tokyo in press, c.

○イチョウウキゴケ奄美大島に産す（新　敏夫） Toshio SHIN: *Ricciocarpus natans* (L.) Corda found in Amami-Ōshima

銀杏の葉に似た形の葉状苔で普く世界中に分布する種で日本でも本州，四国，九州から知られ，又流球，台湾，樺太からも知られているが今まで奄美群島からの記録は無い。

当然の事ながら今夏奄美大島，名瀬市，大島高校裏の水田中及び湯湾岳山麓の名音部落の水田中で採集した。奄美群島からは初めてである。（鹿児島大学文理学部生物学教室）